

第1章 挨拶

1-1 会長挨拶

「炉端の会」創立20周年によせて

炉端の会 会長 野田 滋郎

今から20年前、平成6年、1994年8月に「炉端の会」は発足いたしました。それから20年、現在では会員数250名を数えるまでになりました。炉端の会の会員の方々は、人生経験が豊富で知性、知識、教養に溢れ、多くの才能を持ち、積極的で、人柄も良く、ボランティア精神に溢れた方ばかりで、その結果、炉端での活動に於いて充実感、躍動感、生き甲斐、やり甲斐を感じる事が出来る素晴らしい団体になりました。

「炉端の会」が古民家の囲炉裏に火を焚いていないと、まさしく「火の消えた（ような）家」です。「炉端の会」は民家園だけではなくお客様にとっても、なくてはならない存在になっています。また、入園者への積極的で親切な対応で、お客様にも満足いただけるように努力し、少しでも民家園のイメージアップと来園者の増加に努めている積もりで活動しています。

これも炉端の会会員の方々と園の職員、指定管理者の皆様の協力、努力の賜物と思えます。

また、これらの努力が認められ、名誉ある「川崎市文化賞」を受賞しました。

本年、川崎市は市制90周年でもあります。「炉端の会」も20周年という節目をお祝いすると共に、日本民家園も3年後には開園50周年を迎えることとなります。

これを機に10年後の30周年に向けて、ますます楽しくやり甲斐、生き甲斐とドキドキ、わくわくする活力のある団体として発展するよう、皆様と共に邁進して行きたいと思っております。

今後とも「炉端の会」の活動を見守っていただくと同時に、ご理解、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成26年9月